

「新生医学教育センターを宜しく申し上げます！」

医学部附属医学教育センター長を引き続き拝命致しました医学教育学講座の白澤です。皆様方ご承知の通り、昨年度医学教育学講座が新設され、医学教育学講座が中心となって医学教育センターも運営するようになりました。これまで同様引き続きご指導・ご協力を宜しくお願い致します。

この度、「人に優しく、山口に生き、世界に羽ばたく」と「前へ、前へ」を大きな柱に掲げさせて頂きました。今年度も、「臨床実習拡充体制の構築と診療参加型臨床実習の実質化」、「医学教育分野別質保証のための外部評価受審準備」等の課題を始めとして、取り組まなければならない教育課題が多々あります。「学生のために」を基本に、教職員の教育負担とのバランスも考慮しながら着実に前進していきたいと考えております。新卒国試合格率も昨年度に比して今回は改善し、幸先の良いスタートをきることができました。これも学生と教職員の危機感がもたらした結果だろうと思っております。皆様方のご意見を参考にさせて頂きながら、フレキシブルな感覚で医学教育センターの運営を行って参りたいと考えていますので、医学教育に関するご意見ご要望等ございましたらなんなりと医学教育センターまでお願い致します。

医学教育センター長・医学教育学講座 教授 白澤 文吾

新卒者国試合格率が過去最高（96.6%）を記録！

第110回（平成27年度）医師国家試験の山口大学新卒者合格率は96.6%（全国平均94.3%）と過去40年間で最高でした。山口大学既卒者合格率は61.1%（全国平均60.1%）でした。

【本年度のOSCE, CBT実施予定】

OSCE は、11月19日（土）に実施予定です。

CBT は、12月7日（水）に実施予定です。



【今年度の重点課題】

今年度の重点課題として、

① 臨床実習（特に臨床実習2について）、②国際認証、③ 成績不振学生のフォローを掲げ、重点的に取り組んでいきたいと思っております。上記3点について、簡単にご説明致します。

① クリニカル・クラークシップ2（5年～6年）

今年度から実習期間が12週から24週（6週 X 4クール）に拡充されます。また診療参加型臨床実習の完質化が求められています。まずは、学外実習病院も含めた体制作りから取り組んでいきます。

② 国際認証

米国外の医学部出身者が米国で医業を行うには、ECFMGからライセンスを得る必要がありますが、2023年以降の受験資格を「国際基準で認証された医学部出身者に限る」ことが2010年に決定しています。我が国では2013年度から全国の各医学部に対し、医学教育分野別認証制度のトライアルが開始され、全国の各医学部では、質保障を念頭においた国際認証の取得を目指しています。山口大学医学部においても国際認証を目指し、今後取り組んでいく予定です。

③ 成績不振学生のフォロー

現在、高学年次のフォロー体制は確立されていますが、低学年次(2, 3年)のフォロー体制についても検討していきたいと考えています。

【センター教員の紹介】

4月より新しいメンバーが加わりました。

★ 医学教育センター 副センター長・医学教育学講座 准教授 桂 春作
臨床・研究へと繋がる実践性のある医学教育を学生とともに志していきたいと考えています。

★ 医学教育学講座 助教 西本 新

臨床現場での課題・問題点の発見とその解決方法の思考に繋がる医学教育を展開していきたいと考えています。宜しくお願い致します。

ご意見・ご要望等につきましては医学教育センターへ
お願いします。

山口大学医学部附属医学教育センター

TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp

